



問 新たに始まる放課後児童クラブの体制は

答 対象児童を放課後や長期休みに受け入れ！

本町の放課後児童クラブは、1～4年生を2つの認定こども園で対応しているが、常時預けていないと、長期休みの時に預かってもらえず、大変苦勞をしている保護者の方がいる。来年度から公設民営で放課後児童クラブが開始

されるが。

問 どのような体制で運営されるのか。

健康福祉課長 五霞小学校低学年棟2階の2クラスを利用し、定員80名で開設します。対象児童は、就労や病気で

放課後や長期休みなどに保護者の保育が受けることのできない児童です。平日が放課後から19時まで、土曜日・学校休業日・夏休みなどは7時30分から19時までです。日曜日・祝日・年末年始等は休みになります。

問 新たに始まる「こども誰でも通園制度」の運営は

答 2つの認定こども園と協議し、しっかりと取り組む！

こども誰でも通園制度は、保護者の就労や理由を問わず、0～2歳児の未就園児が、保育施設を時間単位で利用できる制度で、令和8年度から全自治体で実施となるが。

問 本町における制度の運営はどのようになるのか。

健康福祉課長 先行実施している市町村の状況から、保育人材の確保等に課題があり、加えて、国からは具体的な実施方針が示されていない

現状にあります。町としましては、国の動向を注視しながら、町内の2か所の認定こども園と協議を行い、令和8年度の実施に向けてしっかりと取り組んでいきます。

こども誰でも通園制度

令和8年度から
全自治体
で実施

.....
親が就労していなくても、月一定時間まで時間単位で子どもを預けられるようにする新たな通園制度です。
子どもにとっては同世代の子どもなど家族以外と関わる機会が得られるほか、親にとっても育児負担の軽減や孤立感の解消につながるなどが期待されています。

利用対象
0歳6か月～2歳児

預かり施設
保育園
認定こども園
幼稚園 など



問 带状疱疹ワクチン接種費用の十分な助成と早期の開始を

答 国や近隣市町の動向を踏まえ、調査検討を行う！

今年6月に国が定期接種化の方向性を示し、早ければ来年度から定期接種の可能性はある。隣の古河市では、今年度から助成が開始され、対象年齢が50歳以上、接種費用の約半額が助成されている。また、町民の方からも「早く

助成を開始してほしい」との声があるが。

問 带状疱疹ワクチン接種費用の十分な助成を早期に開始すべきと考えるが。

健康福祉課長 町民の健康を守る上で対応していかなければ

ならない事案であります。国の示す対象年齢や接種助成額、近隣市町の動向を踏まえ、町独自の対象年齢の拡大や助成金額の補助の必要性について、調査検討を行います。